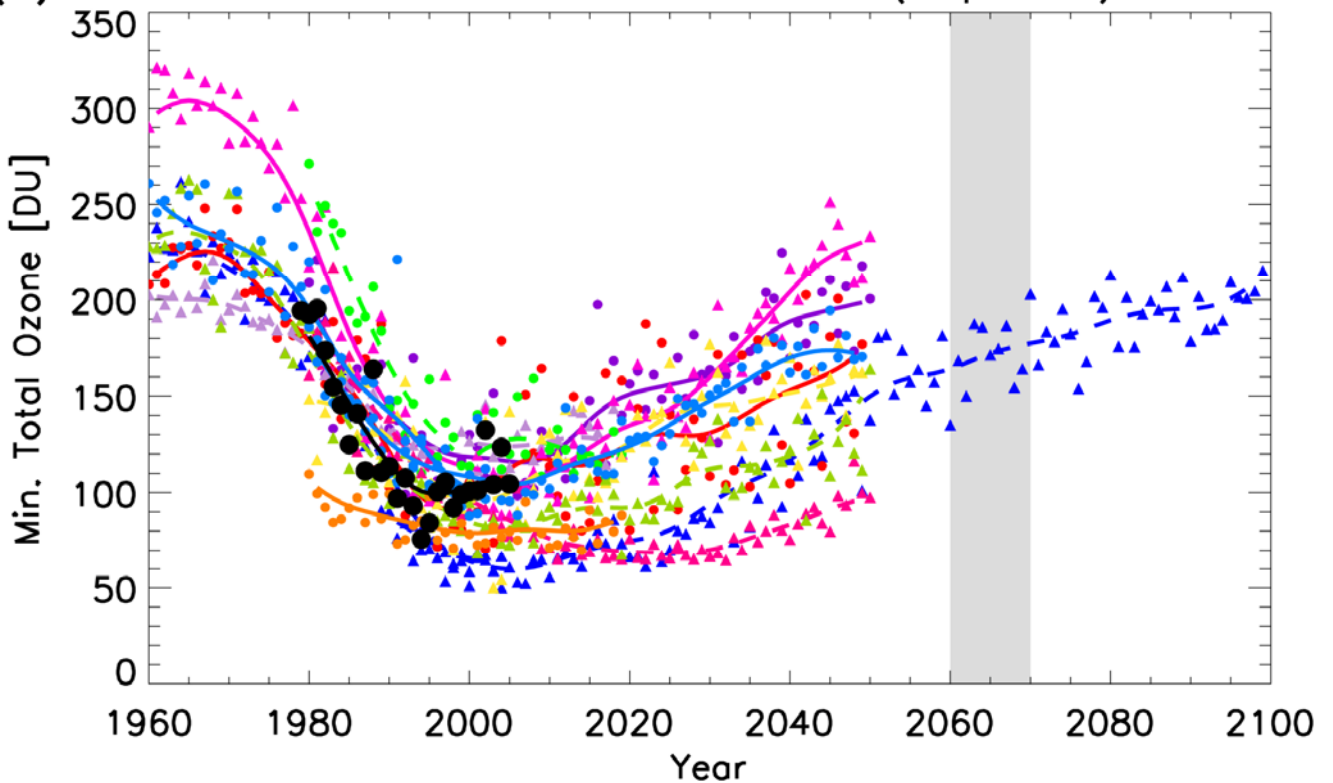


図2

世界の化学気候モデルを用いた数値実験から予想されるオゾンホールの変化(WMOオゾンアセスメントレポート2006より)

オゾンホール内の最低オゾン量の推移



- ▲— AMTRAC (地球流体力学研究所(米))
- CCSR/NIES (国立環境研究所)
- CMAM (カナダ気象局/トロント大学/ヨーク大学(加))
- ▲— E39C (ドイツ航空宇宙センター(独))
- ▲— GEOSCCM (ゴダード宇宙飛行センター(米))
- MAECHAM4CHEM (マックス・プランク研究所(独))
- ▲— MRI (気象研究所(日))
- ▲— SOCOL (世界放射センター/ダヴォス物理気象観測所/スイス連邦工科大学(スイス))
- ▲— ULAQ (ラクイラ大学(伊))
- UMSLIMCAT (リーズ大学(英))
- WACCM (国立大気研究センター(米))
- Observations (観測)